

# 自由民権期の府県会闘争(二)

―参事院・法制局裁定書―

後藤 靖

(一七) 地方税雑収入並ニ監獄巡閲ニ関スル参事院裁定書

高知県令 田辺 良顕

高知県会議長 中山 秀雄

右県令ト県会トノ間ニ於テ地方税雑収入並ニ監獄巡閲ノ件ニ付法律見解ヲ異ニシ権限ヲ争ヒ府県会規則第九条ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

県会ノ具状

第一条

高知県会ハ明治十八年度通常県令ニ於テ収入議案中雑収入ノ項ニ就キ従前ノ例ニ依リ決議スル所アラントセシニ県令代理人ハ其決議ヲ妨害シ該項ハ県会ノ議権外ノモノニシテ本年度

自由民権期の府県会闘争(後藤)

ヨリハ其議定ヲ許サス従前雑収入ノ項ヲ以テ県会ノ議定ニ付シタルハ畢竟県令ノ錯誤ニ出テ且該項ハ内務大藏両省違ヲ以テ議案ノ外書トシ朱書ニテ之ヲ記載スヘキ旨訓示アリタルヲ以テ本年度ヨリハ之ヲ議定スルヲ許サスト明言セリ依テ審議考案スルニ府県会規則第一条ニ府県会ハ地方税ヲ以テ支弁スヘキ経費ノ予算及ヒ其徴収方法ヲ議定ストアリ由是觀之明治十八年度支出予算議案総額二十二万二千八百二十六円九十錢四釐ニ対スル徴収方法ハ悉ク我県会ノ議定スヘキ権限ナルハ其徴収方法トアルヲ以テ明瞭ナリトス蓋シ法文中其トアルハ予算ノ総額ヲ指示シタルノ文字ニシテ頗ル重要ノ關係ヲ有セリ然ラハ則チ支出予算総額ニ係ル其徴収方法ハ悉ク県会ノ議権内ニアルヤ昭昭トシテ明確ナリ果シテ然ラハ独リ雑収入ノ

項ヲ以テ県会ノ議権外ナリトセシハ法律ノ見解ヲ誤リタルモ  
 ノト断定セサルヲ得ス又之ヲ法理ニ照シテ考フルモ地方税規  
 則第一条ニ地方税ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ストアリテ其徵收スヘ  
 キ課目ヲ明示セリ故ニ地方税支出予算ニ對スル徵收方法ハ其  
 課目ヨリ徵收充塞スヘキハ成文上別ニ弁論ヲ要セサルナリ然  
 リ而シテ高知県令カ收入議案中雜收入ノ項ヲ置キ二万三千五  
 百十九円十五錢七釐ノ收入金額ヲ見積リタルモノハ何ゾヤ抑  
 雜收入ナルモノハ支出予算ヨリ生スル一種ノ收入ニシテ地方  
 税ノ課目ニ代用シ地方税ノ從屬タルハ法理上最モ見易キノ理  
 ナリ県会ハ既ニ其主タル地方税ヲ議定スルノ權限アリ豈ニ其  
 從タル雜收入ヲ議定スルノ權限ナキノ理アラシヤ故ニ謂フ之  
 レヲ法理ニ照ラスモ県会ノ議権内ニアルヤ又タ極メテ明瞭ナ  
 リ然リ而シテ高知県令ハ主務省ノ訓示ニ拠リタルモノナリト  
 謂フト雖モ主務省ノ訓示ハ本件ノ如キ權限ヲ争フ上ニ於テハ  
 効力ナキモノトス以上陳述スルカ如ク高知県令カ雜收入ノ項  
 ヲ以テ県会ノ議権外ナリト断定セシハ県会ノ權限ヲ妨害シテ  
 法律ノ見解ヲ誤リタルモノト確認ス

第二条

本年通常県会ニ於テ監獄費ノ予算ヲ議定スルニ當リ在監人中

未囚予定人員ノ見積リ上明瞭ナラサル所アリ県令代理人ニ向  
 テ拘留人及取監人ノ區別並ニ詳細ナル実況ヲ尋問セシニ県令  
 代理人ハ必要ナラストシ之ヲ説明セズ依テ県会ハ議事ヲ止メ  
 監獄ニ至リ地方税ニ關係アル事業ノ実況ヲ処閲センコトヲ典  
 獄ニ請求セシニ典獄ハ県令ノ命ニ依リ其請求ヲ拒絕シタリ依  
 テ審議考案スルニ府県会ハ府県会規則第一条ニ依リ地方税ヲ  
 以テ支弁スヘキ經費ノ予算ヲ議定スヘキモノナレハ府県會議  
 員ハ固ト是レ地方税ニ關係アル事業ノ実況ヲ視察シ得ルノ權  
 利アルモノトス況ンヤ監獄則第五条第四項ニ府県會議員ハ臨  
 時其府県監獄ヲ巡閱スルコトヲ得トアレハ地方税ニ關係アル  
 監獄事業ノ実況ヲ巡閱スルヲ得ルヤ明カナリ由是觀之高知県  
 令カ高知県會議員ノ監獄ヲ巡閱スルノ請求ヲ拒絕シ為メニ各  
 議員ノ考案トナスヘキ緊要ナル材料ヲ得セシメサリシハ即チ  
 議員ノ權限ヲ妨害セルヤ明カナリ然リ而シテ県会ナルモノハ  
 一ケノ結合体ニシテ其分子群ヲ議員ヲ以テ組織シタルモノナ  
 レハ議員ノ權限ハ即チ議會ノ權限ニ係リ議會ノ權限ハ即チ議  
 員ノ權限ニ関ス然ラハ則チ前件ノ如キ議員ノ權利ヲ妨害シタ  
 ル場合ニ於テハ議會ノ權利ヲ妨害シタル者ト断定セサルヲ得  
 ス果シテ然ラハ高知県令カ議員ノ請求ヲ拒絕シタルハ県会ノ

権限ヲ妨害シタルモノト確認ス

県令ノ答弁

### 第一条

高知県会カ明治十八年度収入予算ノ議中ニ際シ雑収入ノ項ヲ当然議定スヘキ議權アリトスル要点ハ府県会規則第一条ニ府県会ハ地方税ヲ以テ支弁スヘキ經費ノ予算及其徵收方法ヲ議定ストアリ其徵收方法ヲ議定ストハ支出總額ニ相当スヘキ金額ヲ議定スルノ謂ニシテ彼ノ雑収入ハ地方税ニ代用スヘキモノナレハ所謂徵收金額ノ一分子ナリ果シテ然ラハ規則第一条ノ範圍ニ於テ当然議定スヘキハ論ヲ待タサルニ付県令ノ之ヲ議定セシメサルハ議權ヲ妨害モシモノナリト謂ニアリ夫レ雑収入ハ地方税ヲ以テ支弁スヘキ事業及ヒ地方經濟ニ屬スル不用財産処分上ヨリ生スヘキ一種ノ金額ニシテ其増減ハ理事者ノ執行スヘキ事業ノ伸縮興廢等ニ依ルヘキモノニ付県会ニ於テ決シテ議定スヘキモノニアラス若シ県会ニ於テ之ヲ議定スヘキモノトセハ県令ノ職權ヲ以テ執行スヘキ事業ノ伸縮興廢ヲ議定スルニ至リ県会ノ分限ヲ超過セサルモノト謂フヘシ且雑収入ハ県会ノ決議シタル支出金額ノ運動ヨリ生シ来ルモノナレハ事實議シ得ラルヘキモノニアナサルナリ原來雑収入ハ

自由民権期の府県会闘争（後藤）

単ニ地方税ト稱呼スヘキモノニアラス抑府県会規則第一条ハ地方税ノ支出予算並ニ地方税ノ徵收方法ノ議權ヲ指定シタルモノニシテ其地方税トハ地方税規則第一条ヲ外ニシ他ニ地方税ト稱呼スヘキモノアラサルナリ故ニ県会ハ法律ニ於テ雑収入ヲ議定スヘキ議權ナキモノト確信ス

### 第二条

高知県会ハ明治十八年度監獄費支出予算ノ議事ニ際シ未決者中拘留状並ニ収監状ヲ以テ入監セシモノノ區別及入監ノ年月日等ノ説明ヲ請求セリ県令代理人ハ經費ニ關係ナキニ依リ之ヲ弁明スルノ必要ナシトシ答弁ヲ与ヘサリシニ付県会ハ監獄則第五条末項ニ府県會議員ハ臨時其府県監獄ヲ巡閱スルコトヲ得トアルニ依リ其巡閱ヲ求メシモ典獄ハ県令ノ命令ナリトシ之カ巡閱ヲ拒絕セリ元來府県會議員ハ合同体ナル議會ノ一分子ナリ而シテ其一分子ナル議員ノ權限ヲ妨害セシハ恰モ議會全体ノ權限ヲ妨害セシト同一一般ナリト謂フヲ以テ權限ヲ争フ本旨トセリ依テ案スルニ未決者ノ拘留状ヲ以テ入監セラルルモ又収監状ヲ以テ拘禁セラルルモ均シク未決者ニシテ其令狀ノ種類ニ依リ經費ノ予算ニ關係ヲ及ホスヘキモノニアラサルヲ以テ之カ弁明ヲ与フヘキモノニアラサルヤ判明ナリトス

九三（九三）

県会ハ県令ニ於テ監獄ノ巡閲ヲ拒絶シタリト謂モ何ソ県令ニ於テ巡閲ヲ拒ムノ道理ナランヤ当初議員ノ請求スル所ハ囚籍ヲ披見セントスルニ在リ凡ソ官庁ニ属スル帳簿ハ仮令府県会議員タリト雖モ披見セシムヘキモノニアラサルヲ以テ巡閲ハ許容シタルモ其帳簿披見ノ点ニ就キ之ヲ拒絶シタルニ外ナラサルナリ監獄則第二五条末項ノ成文ニ依レハ府県會議員ハ監獄ヲ巡閲スルヲ得ルニ止マリ帳簿ヲ披見スルコトヲ得ヘキモノニアラスト確信ス加之監獄則ハ太政官ヨリ府県ニ達セラレタル条規ニシテ法律ト称呼スヘキモノニアラスト且府県會規則第九条末項ハ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ法律ニ就キ其権限ヲ争フヘキ場合ヲ指定シタルモノニテ監獄則ノ如キ府県ニ達セラレタルモノヲ含有シタルモノニアラスト又監獄則第五條末項ハ議員一巳ノ資格ヲ以テ監獄ヲ巡視スルヲ得ルニ止マリ帳簿ヲ得サルモノナルヘシ且右ノ末項ニ府県會議員トアリテ府県會トナキヲ以テ見レハ無形人ナル県會全体ヨリ巡閲スルヲ得ヘカラサルヤ判明ナリ果シテ然ラハ仮令監獄則ヲ法律ナリトスルモ県會當局ヨリ権限ヲ争フヲ得ヘキモノニアラスト依テ本件ハ御院ノ裁定ヲ仰クヘキモノニアラスト信認ス

審明

第一条

本件県令ト県會ト法律ノ見解ヲ異ニシ権限ヲ争フノ要点ハ雜収入ナルモノハ府県會規則第一条府県會ハ地方稅ヲ以テ支弁スヘキ經費ノ予算及其徵集方法ヲ議定ストアルニ照ラシ県會ノ議定ニ附スヘキモノナルヤ否ヤニ在リ依テ之ヲ審案スルニ雜収入ハ地方稅ヲ以テ支弁スヘキ事業ノ執行上ヨリ生スルモノナレハ其事業ノ伸縮興廢ハ県令ノ職權ヲ以テ取扱フヘキ事ニシテ県會ハ之ヲ議定スルノ權ナキモノトス依テ県令カ雜収入ノ項ヲ県會ノ議定ニ附セサリシハ当然ノ処置ナリトス

第二条

本件県令ト県會ト権限ヲ争フト謂フノ要点ハ県會カ監獄費ノ予算ヲ議スルニ当リ在監人中拘留人及収監人ノ区别並ニ其実況ヲ知ラント欲スルヨリ監獄ノ巡閲ヲ請求セシニ県令ハ之ヲ拒絶シタリ而シテ監獄則第五條第四項ニハ府県會議員ハ臨時其府県監獄ヲ巡閲スルコトヲ得トアルヲ以テ県令カ之ヲ拒絶シタルハ県會ノ権限ヲ妨害シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ監獄巡閲ノ事ハ本ト是レ政府カ府県ヘ達シタル行政上ノ処分ニ出タルモノニシテ県會議員カ巡閲ヲ請求セシニ当リ県令カ之ヲ拒絶シタリトスルモ県會ハ府県會規則第九條ニ依リ

県令ト権限ヲ争フコトヲ得ヘキモノニアラス況ンヤ県令ノ答弁ニ依レハ監獄ノ巡閲ハ許容シタルモ帳簿ノ披見ヲ許サ、リシト謂フニ於テヲヤ参事院ハ府県会規則第九条ニ依リ府知事県令ト府県会トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ権限ヲ争フモノヲ裁定スル所ノナリ本件ノ如キハ行政上ノ処分ニ係ルモノナルヲ以テ参事院ノ裁定ヲ請フヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ第一条県令カ雑収入ノ項ヲ県会ノ議定ニ附セサリシハ法律ノ見解ヲ誤リ県会ノ権限ヲ犯シタルモノニアラス第二条本院ニ於テ裁定スルノ限ニアラス

明治十八年五月二十四日

審理委員

参事院議官補 岸本 辰雄

審理委員

参事院議官補 広橋 賢光

審理委員

参事院議官補 蒲生 仙

(一八) 地方税精算報告書ニ関スル参事院裁定書

大分県令 西村 亮吉

大分県会副議長 宇佐美春三郎

右県令ハ県会トノ間ニ於テ地方税精算報告書ノ件ニ付権限ヲ

争ヒ府県会規則第九条ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

県会ノ具状

明治十八年通常県会ニ於テ明治十六年度地方税支出精算報告書ヲ受ケ之ヲ調査スルニ雜出ノ項ニ金一円一錢四釐前年度監獄費追払トアルヲ以テ之ヲ県令代理人ニ質スニ十五年度監獄費中刑具費ノ支出ニ誤謬アリシヲ十六年度ニ至リ發見セシモ精算決了ノ後ナルヲ以テ即チ十六年度中予算外ニ生シタル事ノ件ノ費途ニ付之ヲ予備費ヨリ支出セシモノナリト答弁セリ

審理委員長

参事院副議長 山尾 庸三

審理委員

参事院議官 嶋 惟精

審理委員

参事院議官 中村 弘毅

審理委員

参事院議官補 落台 濟三

自由民権期の府県会闘争(後藤)

依テ之ヲ地方税規則ニ照スニ其第四条ニ曰ク其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ一週年度トナシ府知事県令ハ其年二月迄ニ地方税ヲ以テ支弁スヘキ経費ノ予算並ニ地方税徴収ノ予算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府県会ノ議決ヲ取り云云トアリ蓋シ其一週年度ノ予算ナルモノハ該年度内ノ経費ニ充ツヘキモノニシテ前年度ノ追払ヲナスヘキモノニアラサルヘシ且其第三条予備費ノ割書予算外ニ生シタル事件ノ費途トハ其年度内ノ事件ノ費途ニ充ツルモノニシテ既往年度ノ費用ニ充ツヘキニアラサルヘシ故ニ該費ノ如キハ更ニ県会ノ議決ヲ経テ支出スヘキモノナルヲ県令ニ於テ擅ニ翌年度ノ経費ヲ以テ支出セシハ會計年度ヲ紊リ議會ノ権限ヲ犯シタル処置ナリト信認ス

県令ノ答弁

前年度監獄費ノ追払ヲ翌年度予備費ヨリ支出シタルハ明治十五年度ニ於テ刑具費十四円十九錢二釐ノ支出ヲ要シタル処此費用ハ明治十四年七月内務大藏両卿乙第三十四号達ニ依リ集治監ニ入ルヘキ囚徒ト県獄ニ入ルヘキ囚徒ノ延数ニ照シ平均シテ支弁スヘキモノト見込一円一錢四釐ヲ困庫ノ負担シテ引去リ残額十三円十七錢八釐ヲ地方税ノ負担トシテ決算ヲ遂ケタルニ明治十六年度ニ至リ該費ハ集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ

關係セスト其筋ヨリ照会アリシニ依リ篤ト取調ヘ始テ其誤謬ヲ發見（十五年度決算終了後）セリ付テハ右一円一錢四釐ハ更ニ地方税ヨリ支払フ要シ即チ十六年度予算外ニ生シタル事件ノ費途ナルヲ以テ府県会規則第三十七条ニ依リ常置委員ニ諮問シ予備費ヨリ支出シタルモノナリ然ルヲ県会ハ地方税規則第四条ニ曰ク其年七月ヨリ翌年六月迄ヲ一週年度トシ府知事県令ハ其年二月迄ニ地方税ヲ以テ支弁スヘキ経費ノ予算並ニ地方税徴収ノ予算ヲ立テ翌年度ノ定額トナシ其府県会ノ議決ヲ取り云云トアリ蓋シ其一週年度ノ予算ナルモノハ該年度内ノ経費ニ充ツヘキモノニシテ前年度ノ追払ヲナスヘキモノニアラサルヘシト云フト雖モ右追払ノ儀ハ十六年度ニ於テ其誤謬ヲ發見シタルモノニ付其發見ノ年度ニ於テ支払フ為スハ論ヲ竣タス是レ則チ十六年度予算外ニ生シタル費途ナリ又県会ハ其第三条ニ予備費ノ割書予算外ニ生シタル事件ノ費途トハ其年度内ノ事件ノ費途ニ充ツルモノニシテ既往年度ノ費用ニ充ツヘキニ非サルヘシト云ト雖モ前陳ノ通十六年度中ニ於テ其誤謬ヲ發見シタルモノニ付即チ同年度ノ予算外ニ生シタル事件ノ費途ナルヲ以テ之ヲ同年度ノ予備費ヨリ支払フヘキハ論ヲ竣タサルナリ抑予算外ニ生シタル事件ノ費途トハ水火盜難等ニ係

リタル欠額ヲ補填シ或ハ前年度ノ精算中誤謬ヲ発見シ追払ヲナス等ノ費用ニシテ即チ明治十五年十二月内務大藏両卿乙第七十二号達精算報告書式中雜出ノ項ニ示スカ加キモノニ付之ヲ発見シタル年度ノ予備費ヨリ支出スルハ当然ノ事ナリ又県會ハ更ニ県會ノ議決ヲ經テ支出スヘキモノト云フト雖トモ前陳ノ如ク予備費ヲ以テ支払フヘキモノニ付府縣會規則第三十七條ニ依リ常置委員ニ諮問シ予備費ヲ以テ支出セリ如此予算外ニ生シタル事件ノ費途ハ更ニ県會ノ決議ヲ要スルモノニアラス故ニ明治十六年度ニ於テ監獄費追払ヲ為シタルハ會計年度ヲ紊リ議會ノ權限ヲ犯シタル処置ニアラス

#### 審明

本件県令ト県會トノ間ニ於テ權限ヲ争フノ要点ハ県令ハ県會ノ議定ヲ經スシテ十六年度ノ予備費ヲ以テ十五年度ノ監獄費追払ヲナスコトヲ得ルヤ否ニ在リ依テ之ヲ審案スルニ県會ハ一週年度ノ予算ハ該年度内ノ經費ニ充ツヘキモノニシテ前年度ノ追払ヲナスヘキモノニアラサルヘシ且予備費ノ割書予算外ニ生シタル事件ノ費途トハ其年度内ノ事件ノ費途ニ充ツルモノニシテ既往年度ノ費用ニ充ツヘキモノニアサルヘシト云フト雖モ抑本件十五年度監獄費中刑具費金一円一錢四釐ヲ因

庫支弁トシタルハ誤謬ニシテ地方稅ヨリ支出スヘキモノナルコトヲ発見セシハ十六年度内既ニ十五年度地方稅精算決了ノ後ニ在リ故ニ其名ハ追払ト稱スト雖其實ハ十六年度ノ地方稅ヲ以テ十六年度ノ予算外ニ生シタル事件費途ニ支弁シタルニ外ナラス且ツ予備費ナルモノハ他ノ費目ト其作用ヲ異ニシ一定不動ノモノニアラサルハ其割書ニ予算外ニ生シタル事件ノ費途ニ充ツルトアルヲ以テ明了ナリトス故ニ県令カ定限アル監獄費ヨリ支出セスシテ予算外ニ生シタル事件ノ費途ニ充ツヘキ予備費ヨリ支出シタルハ法律ノ禁スル所ニアラス

#### 判決

右ノ理由ニ依リ県令カ縣會ノ議決ヲ經スシテ十五年度精算決了ノ後監獄費誤謬ノ追払ヲ其発見シタル十六年度ノ予備費ヨリ支出シタルハ縣會ノ權限ヲ犯シタル処置ニアサルモノトス  
明治十八年六月四日

審理委員長

參事院副議長 山尾 庸三

審理委員

參事院議員 福羽 美靜

審理委員

九七 (九七)

参事院議員 穴戸 磯

審理委員

参事院議員補 岩崎小二郎

審理委員

参事院議員補 曾根 荒助

審理委員

参事院議員補 落合 濟三

審理委員

参事院議員補 岩倉 具定

(一九) 地方税貸下未納金打切補充追徴ニ関スル参事院裁定書

院裁定書

愛知県令 勝間田 稔

愛知県会議長 竣山忠左衛門

右県令ト県会トノ間ニ於テ地方税貸下未納金打切補充追徴ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府県会規則第九条ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

県会ノ具状

明治十八年九月臨時県会ニ向テ県令ハ臨時県会第一号議案ヲ

発シテ地方税貸下未納金打切補充追徴額区郡部負担割合ヲ議定セントス因テ本会ハ該金額ヲ議定スルニ当リ其起源性質等ヲ尋究スルニ該補充追徴額ノ内金一万六千四百六十錢六釐ハ県会ノ決議ヲ經ス又常置委員ヘ諮問ノ趣旨ニモ基カス全ク一巳ノ処断ヲ以テ地方事業ニアラサル事項ニ地方税ヲ支弁シ我ガ愛知県会ノ議權ヲ侵蝕シタル事ヲ発見シタリ何者我ガ愛知県会ハ府県会規則第一号ニ拠テ地方税ヲ以テ支弁スヘキ經費ノ予算及其徴收方法ヲ議定スルノ權ヲ有スレハナリ右ノ理由ナルヲ以テ該補充追徴額区郡負担割合ノ如キハ愛知県会ニ於テ議定シ愛知県民ノ負担スヘキモノニアラスト信ス是レ県令ト本会ト法律ノ見解ヲ異ニスル要点ニシテ今般裁定ヲ請フ所以ナリ

県令ノ答弁

今回臨時県会ヘ発布シタル金六万千七百七十六圓五十二錢六釐貸下未納金打切補充追徴ノ議案ニ対シ県会ハ該補充追徴額ノ内金一万六千四百六十錢六釐ハ県会ノ決議ヲ經ス又常置委員ヘ諮問ノ趣旨ニモ基カス完ク一己ノ処断ヲ以テ地方ノ事業ニアラサル事項ニ地方税ヲ支弁シ我ガ愛知県会議權ヲ侵蝕シタル事ヲ発見シタリ何者我ガ愛知県会ハ府県会規則第一条

ニ抛テ地方税ヲ以テ支弁スヘキ経費ノ予算及ヒ其徴取方法ヲ  
議定スルノ權ヲ有スレハナリ右ノ理由ナルヲ以テ該補充追徴  
額区郡負担割合ノ如キハ愛知県会ニ於テ議定シ愛知県民ノ負  
担スヘキモノニアラストスルノ主旨ナリ抑地方税ヲ貸下タル  
ヤ素ヨリ法律規則ニ抛リ執行シタルモノニアラス専ラ經濟上  
ノ便益ヲ謀リシモノニテ全ク行政上ノ作用ニ外ナラサルヲ以  
テ明治十四年六月常置委員ヘ諮問セシニ委員ニ於テモ之ヲ贊  
成シ貸下然ルヘシトノ答議ニ及ヒタリ爾來其貸下金ヨリ生ス  
ル所ノ潤益ハ之ヲ其年度ノ雜收入ニ編入シ式ノ如ク議會ヘ報  
告シ議會モ亦之ヲ是認セリ其既ニ收入スル所ノ潤益ハ金一万  
二千九百一円五十九錢六釐ナリ然レハ其貸下金ヨリ生シタル  
所ノ潤益ヲ收受スルモノハ又之ヨリ生スル損失ヲ負担セサル  
ヲ得サルノ義務ヲ生スルハ理ノ尤著明ナルモノトス  
依テ本年五月臨時県会開設ノ際東洋組ヘ貸下タル則チ金一万  
六千四百四十円六十錢六釐ノ未納ニ對スル処分方法ヲ該会ヘ諮  
問セシニ該会ニ於テハ故県令カ常置委員ヘ諮問ノ主旨ニ戻リ  
無抵當ニテ貸下タルヨリ生スル所ノ損失ナレハ此損失ハ地方  
税ノ負担スヘキモノニアラス地方税ノ負担スヘキモノニアラ  
サレハ之ニ答フルノ限リニアラストノ意見ヲ以テ諮問案ヲ返

自由民権期の府県会闘争(後藤)

還セリ

次テ又臨時会ヲ開キ貸下未納処分未定中経費ノ不足ヲ補充セ  
ンカ為メ一時借入金ヲ要シ之カ利子支出ノ議案ヲ發付セシニ  
該会ハ既ニ前会ニ於テ諮問案ヲ返還シタルノ主旨ニ依リ該組  
ニ貸下タル未納不足額ニ對スル借入金ノ利子ヲ削除セリ於是  
議會ハ本官ト意見ヲ異ニシ諮問案ノ返還ニ對シテハ其損失ノ  
何レニ歸スルヤヲ内務大藏兩卿ニ上申シ指揮ヲ請ヒシニ上申  
ノ趣地方税ノ損失ニ歸スル儀ト可心得旨指揮相成タリ依テ本  
官ノ職權ヲ以テ夫夫処分執行セリ

又借入金ニ對スル決議ハ府県会規則第五条ニ抛リ内務卿ヘ具  
狀シテ指揮ヲ請ヒシニ書面具狀ノ趣地方税取扱費ハ原案ノ通  
其郡区負担割合ハ県會議決ノ通施行スヘキ旨指揮相成タリ  
然ルニ且下十七年度地方税決算ノ場合ニ際シ貸下未納金打切  
ノ為メ経費ニ不足ヲ生シ結算ヲ了スル能ハサルヲ以テ則チ經  
費ノ欠額ヲ補充セントシテ今回臨時県会及ヒ区郡部会ヲ開キ  
地方税規則第五条ノ末項ニ抛リ議案ヲ發付シタルモノニシテ  
則チ前顯陳述ノ如ク素ヨリ法律規則ニ抛リ貸下タルモノニア  
ラス即チ行政上ノ作用ニ出タルハ國ニ判然タリ然ルトキハ此  
貸下金ハ県会ノ議決ヲ經ント欲スルモ二十費目ノ外ナレハ県

会ニ於テ之ヲ議決スルニ由ナカラシム是特ニ常置委員ニ諮問シタル所以ナリ故ニ委員之ヲ甘諾シテ諮問ニ答ヘ県会モ亦其諮問ヲ以テ県令カ法律規則ニ抵触シタル諮問ヲ発シタリトセス常置委員ノ答議モ亦当然ノコトナリト各之ヲ是認セリ則チ田中勘七郎外五名ヘ貸下タル未納欠損金ニ対シ敢テ異議ヲ容レサルヲ以テ之ヲ証明スルニ足レリ

然ルトキハ其議權ヲ侵蝕シタルト云ヒ法律ノ見解ヲ異ニスルトノ要点ハ只其抵当ノ有無ニ在リ之ヲ反言スレハ抵当ヲ取レハ議權ヲ侵蝕シタルニアラス又法律ノ見解ヲモ異ニセスト云フノ精神ニ外ナラスト認メタリ

是県会ハ諮問ノ性質ヲ誤解シ又法律ノ適用ヲ誤認シタルヨリ原因セシ謬見ト謂サルヲ得ヌ何トナレハ所謂諮問ノ性質タルヤ行政官カ其職權ヲ以テ行フヘキ事件ヲ参考ノ為メ問フモノナレハ県会又ハ常置委員ハ其諮問ニ対シ意見ヲ上申スルニ止マルモノニテ其答議ヲ取捨スルハ固ヨリ県令ノ權内ニ在テ府県会規則第一条ノ議定トハ其差違豈當膏壤ノミナランヤ又法律規則ニ抛リ議會ニ於テ議決シ得ヘカサルモノヲ議決セシメサルヲ以テ規則第一条ニ其キ見解ヲ異ニスルト云ハ則チ牽強附会ノ言タルヲ免レヌ

是本官カ行政事務執行上ヨリ生シタル事件ト認メ内務大蔵兩卿ノ指揮ヲ得テ其処分ヲ結了シタル所以ニシテ敢テ法律ニ向テ權限ヲ争ヒ見解ヲ論スルノ限リニアラサルナリ然ルトキハ今回臨時県会ニ發布シタル貸下未納金打切補充追徴ノ議案ハ毫モ法律ニ抵触セス又議權ヲ侵蝕シタルモノニモアラスト確認ス

### 審明

本件具狀ノ要旨ハ県会ハ臨時県会第一号議案地方稅貸下未納金打切補充追徴額ノ内金一万六千四百四十円六十錢六釐ハ県会ノ議決ヲ經ス又常置委員ニ諮問ノ旨趣ニモ基カス県令一己ノ処断ヲ以テ地方ノ事業ニアラサル事項ニ支弁シタルモノナレハ府県会規則第一条ニ抛リ之ヲ議定スヘキモノニアラスト謂ヒ県令ハ地方稅金ヲ貸下タルヤ素ヨリ法律規則ニ抛リ執行シタルモノニアラス当初常置委員ニ諮問シタルカ如ク専ラ經濟上ノ便益ヲ図リシモノニシテ全ク行政上ノ作用ニ出テタルモノナレハ法律上ニ於テ權限ヲ争ヒ見解ヲ論スヘキモノニアラスト謂ヘリ依テ之ヲ事實ニ徵スルニ該金額ハ東洋組ニ貸下タルモノニシテ田中勘七郎外五名ニ貸下タル金四万五千三十五円九十錢ト同性質ノモノタルヤ明ナリ又地方稅ニ欠額ヲ生シ

タルトキハ之ヲ補充スルニ地方税ヲ以テスヘキハ論ヲ俟ス然レハ則チ県会ノ論旨ハ到底該金額ハ当初常置委員ニ諮問シタル旨趣ニ違ヒ貸下タルモノナルヲ以テ其未納金補充追徴額ヲ議定スヘキモノニアラスト云ニ過サレハ強テ府県会規則第一条ヲ引援シ之ヲ論スヘキモノニアラス要スルニ本件ハ県令ノ地方税金管理上ヨリ生シタル事項ニ対シ県会ニ於テ異議ヲ唱フルモノニシテ法律ノ見解ヲ異ニシタルモノニアラス又権限ヲ争フモノニアラス参事院ハ府知事県令ト府県会トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ権限ヲ争フモノヲ裁定スル処ナルヲ以テ本件ノ如キハ本院ノ裁定ヲ請フヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ参事院裁定ノ限ニ在ラス

明治十八年十一月九日

審理委員長

参事院副議長 山尾 庸三

審理委員

参事院議員 福羽 美静

審理委員

参事院議員 林 清康

自由民権期の府県会闘争(後藤)

審理委員

参事院議員補 股野 琢

審理委員

参事院議員補 平田 東助

審理委員

参事院議員補 男谷 忠友

審理委員

参事院議員補 水野 遼

(二〇) 地方税臨時水災土木費議定ニ関スル法制局裁定書

定書

鳥取県令 山田 信道

鳥取県会副議長 中井 静雄

右県令ト県会トノ間ニ於テ明治十八年度臨時水災土木費議定ノ件ニ付キ法律ノ見解ヲ異ニシ権限ヲ争ヒ府県会規則第九条ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

県会ノ具狀

第一条

明治十八年度臨時水災土木費議定ノ為メ本年七月臨時県会ヲ

一〇一(一〇一)

開設シ県令カ該会ニ発布シタル支出追加予算議案ハ合計金七  
 万八千五百七十五円九十銭八釐ニシテ追加徴収予算及方法議  
 案ハ金二万二千二百二十三銭三釐ヲ地租割税(即ち地租金)トシ  
 而シテ金七千六百八十円六十七銭二釐ハ戸数割税(即ち戸金)トシ  
 トシ而シテ金五万七百八十七円九十五銭四釐ハ民力ノ負担ニ  
 耐ヘサルヲ以テ国庫特別補助ヲ仰クヘキ分トシ收入合計金七  
 万八千五百九十円七十五銭九釐ノ内全ク民力ノ負担ニ歸ス可  
 キ金額ハ二万七千八百二十円八十銭五釐トス即臨時県会ハ其支  
 出收入予算及方法議案共異議ナク之ニ確定セリ然ルニ県令ハ  
 認可否ヲ為サス本年十一月ニ至リ甲第百三十七号ヲ以テ其支  
 出追加予算ハ本年七月臨時県会ノ議決追徴方法ハ本年十月常  
 置委員会ノ再議ニ付シ該会ノ議決ヲ認可シタル旨布達セリ而  
 シテ十九年度通常会ニ於テ常置委員ノ報告ヲ受ケ之ヲ審査ス  
 ルニ県令カ府県会規則第五條及第三十七條第二項ニ依リ再議  
 案ト做シ常置委員会ニ付シ議決セシメタル追加收入予算及方  
 法議案ハ金三万八千六百五十一円九十銭三釐ニシテ内金二万  
 八千七百七十円九十銭六釐ハ地租割税(即ち地租)トシ金一万  
 四百八十円九十一銭七釐ハ戸数割税(即ち戸金)トシ之ニ国  
 庫特別補助金四万円ヲ合シ金七万八千六百五十一円九十銭三

釐トス之ヲ臨時県會議決ノ金額ニ対照スルニ地租割税ニ八千  
 四十八円八十五銭三釐戸数割税ニ二千八百円二十四銭五釐  
 ヲ増加セリ因テ之ヲ考フルニ県令ハ同規則第五條ニ依リ県会  
 ノ議決ヲ認可スルノ権ヲ有スルモ一旦其議決セシメタル議  
 案ヲ変更増減スルハ固ヨリ法律ノ許サ、ル所ナリ然ルニ県令  
 ハ臨時県会ノ議決ニ対シ適當ノ処分ヲナサスシテ之カ効力ヲ  
 空フシ擅ニ其議決ノ金額ヲ動シ其議案ノ組織ヲ變シ之ヲ再議  
 案トナシ以テ常置委員会ニ付シタルハ県令カ法律ニ依リ職權  
 ヲ以テ為シ得ヘキ範圍外ノ処分ト云ハサル可カラス抑県令カ  
 県会ノ議決ヲ認可スヘカラスト思慮シ同規則第五條第二項ニ  
 依リ之ヲ再議ニ付スルハ乃ヲ其己ニ発布シタル議案ニ就キ再  
 ヒ審議討論適當ノ議決ヲ為サシムルノ謂ニシテ其前後金額ト  
 組織トヲ異ニスル議案ヲ以テ同規則第三十七條ニ依リ開設セ  
 ル常置委員会ニ付シタルハ乃チ法律上発布スヘカラサル議案  
 ヲ発布シ而シテ常置委員会ニ於テ法律上議定スヘカラサル議  
 決ヲナサシメ之ヲ認可スト雖モ決シテ正當ノ処置ニ非ザレハ  
 共ニ無効ニ歸スヘキハ固ヨリ言ヲ俟タサルナリ因テ県令ノ所  
 為ハ法律ニ背反シ県会ノ議權ヲ犯シタルモノト認定セリ

第二条

県令カ前条再議案ヲ以テ常置委員会ノ議決ニ付スルノ前ニ當リ常置委員ノ伺書ニ對シ府県会規則第五条ニ依リ県会ノ議決ヲ再議ニ付スルニ会期內ニ於テスルモ又ハ更ニ臨時會ニ於テスルモ法律ノ制限無之儀ニ付何レノ場合ニ於テモ再議案ヲ免布スルトキハ之ヲ決議スヘキ儀ト心得ヘシ云ト指令セリ因テ之ヲ審案スルニ再議ノ場合ト会期ノ制限トハ相密接シテ離ル可ラサルモノナリ如何トナレハ則チ県令指令ノ如ク果シテ会期外ニ於テ再議ニ付スルヲ得ルモノトセハ政府カ同規則第三十一条及第三十二条ヲ以テ定メタル会期ノ制限ハ終ニ無効タルヲ免レス故ニ同第五条第二項ニ依リ県令カ意見ヲ以テ会期內ニ再議ニ付スルヲ得ルハ固有ノ職權ニシテ法律ノ許ス所ナリト雖モ同第三十七条第二項ニ依リ常置委員会ヲ開キ十八年度追加徴収予算及方法再議案ト做シ該會ノ議決ニ付シ之ヲ認可シタルハ乃チ会期ノ制限ヲ破リ法律ヲ誤解シタル処分ナリト認定セリ

#### 県令ノ答弁

#### 第一条

県会ハ其既ニ議決シタル議案ノ組織ト金額トヲ變更シ其会期外ニ於テ再議ニ付シタルハ法律上背反シ議權ヲ犯シタルモノ

自由民権期の府県会闘争(後藤)

ニシテ再議ノ議決モ共ニ無効トスト云フニ在リ抑前ノ議會ハ正当議決シ得ルノ資格ヲ以テ議決シ県令之ヲ認可シタルモノハ議決ノ當否如何ヲ分タス後ノ議會ニ於テ復タ週テ之ニ異議ヲ容ル、ヲ得サルハ勿論トス仮令之ニ異議ヲ容ル、ヲ得ルトスルモ其異議ハ県会ト県会ト争ニシテ県令ト県会ノ争ニ非サルナリ今ヤ前ノ議會即チ府県会規則第三十七条第二項ニ拠リ開設セル常置委員ノ會議ニ於テハ県令ト見解ヲ異ニスルコトナクシテ再議案ヲ適當ト認メ之ヲ可決シ県令亦之ヲ認可施行シタルモノナレハ後ノ議會即チ本年ノ県会ニ於テ復タ之ニ週テ異議ヲ容レ法律ニ向テ權限ヲ争ヒ見解ヲ論スルノ限ニアラサルモノト確認ス

#### 第二条

前条ノ理由ニ拠リ本件ニ對シテハ弁明ノ限ニアラスト認ルモ姑ク一步ヲ譲リ再議ニ付シタルハ法律ニ背キ議權ヲ犯シタルニ非スシテ県会ノ誤解ナルコトヲ左ニ申明セシ

第一項県会ハ同規則第五条第二項ニ拠リ之ヲ再議スルハ既ニ發布シタル議案ニ就キ議決ヲ為サシムルノ謂ニシテ之ヲ變更増減スルハ法律ノ許サル所ナレハ今議案ノ組織ヲ變更シ金額ヲ増減シテ更ニ發布セルハ法律ニ背キ議權ヲ犯シタリト云

## 審明

フニアリ右第五条第二項ニハ時宜ニ抛リ之ヲ再議ニ付スルヲ得トアリテ其再議案ハ云云スヘシトノ裁判ナキ以上ハ再議ニ付スルノ議案ハ初度ノ議案ヲ以テスルモノ之ニ修正ヲ加ヘ金額ヲ増減シ組織ヲ変更セサルモノヲ以テスルモ初ヨリ新ニ發布シタル議案ト均シキ資格ヲ有スルモノニシテニ一県令ノ裁量ニ任セ毫モ法律ノ制裁セサルヤ明確ナリ且県会ハ一旦議決セシメタル議案ハ適當ノ処分ヲ為サスシテ之カ効力ヲ空フシ之ヲ度外ニ置クト云フト雖モ既ニ之ヲ再議ニ付シタレハ即チ初度ノ議案ニ対シテハ法律ニ抛リ県令ノ職權ヲ以テ之ヲ消滅ニ付シタルモノニシテ其議決ニ対シテハ別ニ処分スヘキノ理ナシ

第二項県会ハ再議ノ場合ト会期ノ制限トハ密接シテ離ルヘカサルモノニシテ若シ会期外ニ於テ再議ニ付スルヲ得ルトセハ同規則第三十一条同三十二条ノ会期ノ制限ハ無効タルヲ免レス故ニ常置委員会ヲ開キ再議ニ付シタルモノハ会期ノ制限ヲ破リ法律ヲ誤解シタル処分ナリト云フト雖モ同規則第五条ニハ再議ニ付スルニハ其会期内ニ於テスヘシト制セサルニ抛リ不得止場合ニ於テハ会期外別ニ臨時会ニ於テスルモ県令ノ裁量ニ任セラレタルヤ明了ナリ

本件県令ト県会ト法律ノ見解ヲ異ニシ権限ヲ争フノ要点ハ県令ハ県会ヲシテ一旦議決セシメタル地方税追加徴収予算及方法ニ係ル議案ヲ修正変更シテ常置委員会ニ付シ再議セシムルコトヲ得ルヤ否ヤニ在リ依テ之ヲ審案スルニ県会ハ県令カ府県会規則第五条ニ依リ県会ノ議決ヲ認可否スルノ權ヲ有スルモ一旦議決セシメタル議案ヲ変更増減スルハ法律ノ許サ、ル所ナリ而シテ再議ナルモノハ其己ニ發布シタル議案ニ就キ再ヒ審議討論シ適當ノ議決ヲ為サシムルノ謂ナレハ県令カ前後金額組織ヲ異ニスル議案ヲ以テ常置委員会ニ付シ法律上議定ス可ラサル議決ヲ為サシメタルハ法律ニ背反シ県会ノ職權ヲ犯シタルモノナリト謂フト雖モ抑府県会ノ議決ハ府知事県令認可ノ上断行スヘキモノナレハ其末タ認可セサル以前県令カ府県会規則第五条第二項ニ依リ更ニ前議案ヲ修正変更シテ之ヲ再議セシムルモ法律ノ禁スル所ニ非ス本件ノ如キ国库補助ニ係ル金額ハ未必ノ予算ニシテ現ニ其金額ニ異同ヲ生シタルニ由リ其議案ヲ修正変更シテ再議ニ付シタルハ法律ノ範圍外ニ渉ルノ処分ニ非ス而シテ之ヲ再議セシムルニ当リ臨時会断ヲ要スル場合ト認め同規則第三十七条第二項ニ依リ常置委員

明治十八年十二月

会ニ付シ之ヲ議決セシメタルハ法律ニ背反シ議權ヲ犯シタルモノニ非ス又県会ハ再議ノ場合ト会期ノ制限トハ密接シテ離ル可ラサルモノナリ若シ会期外ニ於テ再議ニ付スルヲ得ルモノトセハ同規則第三十一条及第三十二条ニ定メタル会期ノ制限ハ無効タルヲ免レス故ニ県令カ常置委員会ヲシテ再議セシメタルハ会期ノ制限ヲ破リ法律ヲ誤解シタル処分ナリト謂フト雖モ抑同規則第三十一条及第三十二条ハ単ニ会期ヲ示シタルモノニシテ再議ハ必ス其前議ノ会期内ニ於テスヘシト限リタルニ非ス故ニ県令カ未タ認可セザリシ議決ニ對シ同規則第五條第二項ニ依リ再議ニ付セサルヲ得サル場合ニ於テ会期已ニ経過シタルニ方リテハ別ニ臨時会ヲ開クカ又ハ臨時急施ヲ要スルトキハ同規則第三十七條第二項ニ依リ常置委員会ニ付スルカノ二方アルヘシ今般県令カ常置委員会ヲ開キ之ヲ再議セシメタルハ会期ノ制限ヲ破リタル処分ニ非ス

判決

右ノ理由ニ依リ県令カ県会ヲシテ一旦議決セシメタル明治十八年度地方稅追加徵收予算方法ニ係ル議案ヲ修正変更シテ常置委員会ニ付シ再議セシメタルハ法律ノ見解ヲ誤リ県会ノ權限ヲ犯シタルモノニ非ス

自由民權期の府県会闘争(後藤)

審理委員長

法制局長官 山尾 庸三

審理委員

法制局参事官 岩崎小二郎

審理委員

法制局参事官 広瀬 進一

審理委員

法制局参事官 木下 周一

審理委員

法制局参事官 広橋 賢光

審理委員

法制局参事官 小池 清一

審理委員

法制局参事官 牧野 伸顯

(二二) 土木人足旧慣使役法ニ関スル法制局裁定書

宮城県令 松平 正直

宮城県會議長 遠藤 温

一〇五 (一〇五)

右県令ト県会トノ間ニ於テ土木人足旧慣使役法ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシテ府県会規則第九条に依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

## 県会具状

宮城県令ト宮城県会トノ間ニ於テ地方税規則第一条第一項ノ見解ヲ異ニスルヲ以テ之カ理由ヲ詳述シ爰ニ裁定ヲ仰カントス地方税規則第一条ニ地方税ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ス地租三分一以內トアリ県令ハ之ヲ解釈シテ此制限ハ本県人足旧慣使役法ヲ支配スルモノトスト確認シ互ニ其見解ヲ異ニセリ之ヲ要スルニ地方税規則ノ範圍ニ就キテ其見解ヲ異ニスルモノニシテ今其裁定ヲ仰カントスルノ要領ハ他ナンシ地方税規則ノ範圍ハ本県ノ人足旧慣使役法ヲ包轄スルヤ否ノ一点ニ在リトス抑本県ニ於テ現行スル所ノ人足旧慣使役法ナルモノハ明治十二年二月二十七日太政官号外達ニ基キ明治十二年度ノ県會議決ヲ經テ実施スル所ニ係レリ該法第二条ニ曰人足ハ耕地地地価金千円ニ付二十五人戸数一戸ニ付二人ヲ課シ其關係町村限リ使役スヘシト之ヲ説明セハ地方税ヲ以テ支弁スヘキ河港道路堤防橋梁等ノ建築又ハ修繕アルニ際シ其關係町村ノ人民ニ

対シ戸数一戸ニ付人足二人地価千円ニ付同二十五人ヲ課シ以テ其役ニ就カシムルモノニシテ則チ土地ト戸数トニ賦課スルニ勞力ヲ以テスルノ税法ナリトス然レトモ其實際ヲ顧ミルトキハ必スシモ勞力ノミヲ以テ後ニ供スルヲ要セス一人ニ付一日金二十錢或ハ二十五錢ノ賃銀ニ替テ其役ヲ充タスヲ得ヘシ故ニ法ノ休ハ勞力ヲ供セシムルニ在リト雖モ法ノ用ハ土地ト戸数トニ課シテ金錢ヲ徵收スルコト一般地方税ノ徵收ト殆ト異ナル所ナシ是乃チ本県人足旧慣使役法ノ概略ナリ県令ハ現ニ此法ヲ施行シ又更ニ本年度收入予算原案ノ地価割ニ於テモ將ニ地租三分一ノ極点ヲ賦課セントス是ニ於テ議會ハ以テ為ラク原案地価割ニ於テ既ニ地租三分一ノ極点ヲ課シ而シテ尚ホ又人足旧慣使役法ニ於テ土地ニ賦課スル所アラハ勞力ト金錢トノ名目ハ異ナルアリト雖モ遂ニ彼ノ地方税規則第一条第一項ニ抵触スルヲ免レサルニ至ラント依テ之ヲ出場ノ県令代理者ニ質問シタルニ代理者ハ答テ曰本県ノ人足旧慣使役法ハ明治十二年二月二十七日ノ太政官号外達ニ基キ明治十三年度県會ノ議決ヲ經テ内務卿ヘ具申ノ上施行シ来リタルモノナレハ其成立全く特別ノ税法ニシテ地方税規則ノ支配ヲ受クヘキモノニアラス己ニ地方税規則ノ支配ヲ受クヘキモノニアラス

ハ假令該使役法ニ於テ地方税規則ノ制限外ニ課税スト雖モ敢テ之ニ抵触スルノ理ナシト然レトモ議會ハ尚ホ之ヲ承認スルコト能ハス反言シテ地方税規則ノ制限ハ税品ノ何タルヲ問ハス苟モ地方税ニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積算シ得ヘキモノハ等シク是地方税規則ノ支配ヲ受ケサルハナシ而シテ本県ノ人足使役法ハ地方税ニ属スルモノニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積算シ得ヘキモノナリ故ニ公然法律上ノ特許ヲ得ルニアラスンハ何ヲ以テカ地方経済ノ大典タル地方税規則ノ制限ヲ免ルヘキノ理アラシヤト是本件ニ要スル事実ノ概略ナリトス  
今ヤ県会カ裁定ヲ仰カントスルニ当リ以上列叙スル所ノ事実ニ就キテ果シテ県令ト県会トカ法律ノ見解ヲ異ニスルモノアルヤ否又地方税規則ノ制限ハ本県人足旧慣使役法ヲモ支配スヘキモノナルヤ否ノ二点ヲ論窮スルハ実ニ本件ニ對シテ最も必要ノ問題ナリトス依テ先ツ見解ヲ異ニスルモノアル理由ヲ論述シ次ニ其見解ノ当否ヲ弁明セントス  
夫レ県会ニ於テ本県人足使役法ヲ特別法トシ假令地方税規則ノ制限以外ニ賦課スルモノニ抵触セスト謂フ所以ノモノハ即チ該人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケストセラルルニ由ルナリ議會ハ之ニ反シテ地方税規則ハ本県ノ人足使役法ヲ支

配スルモノト解釈セリ是レ県令ト県会トカ地方税規則第一条第一項ノ法文ニ就キ見解ヲ異ニスル所以ナリ県令ハ謂フ地方税規則第一条第一項ノ法文ニ就テハ敢テ見解ヲ異ニスルニアラス唯本県ノ人足使役法ニ付地方税規則ノ支配ヲ受クヘキヤ否ノ見解ヲ異ニスル所アルノミト是皮相ノ見ノミ未以テ地方税規則ノ見解ヲ異ニセサルノ辞柄ト為スニ足ラサルナリ何トナレハ即チ既ニ人足旧慣使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受クヘキヤ否ノ見解ヲ異ニスト云ハハ地方税規則ト人足使役法トヲ二ツナカヲ論窮セサル可ラス唯夫レ県令ハ人足使役法ヲ成立ヲ論拠トシテ地方税規則ニ関セスト是人足使役法ヲ主トシテ地方税規則ヲ客トスルモノナリ議會ハ地方税規則ノ範圍ヲ論拠トシテ人足使役法ヲ包括スト謂フ是地方税規則ヲ主トシテ人足使役法ヲ客トスルモノナリ故ニ県令ニシテ人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受ケサルノ理ヲ弁明セント欲セハ則チ又議會カ解釈スル所ノ地方税規則ヲ論窮セサル可ラス要スルニ主客ノ間密著ニ關係ヲ有スルモノニシテ其見解ヲ異ニスルハ全ク同一ナリトス故ニ県令カ独リ人足使役法ハ地方税規則ノ支配ヲ受クルヤ否ニ見解ヲ異ニスト謂フテ未地方税規則ハ人足使役法ヲ支配スルヤ否ニ見解ヲ異ニセスト謂ハルルハ不

当モ亦甚シト謂フヘシ夫レ然リ故ニ議會カ県令ト法律ノ見解ヲ異ニセリトシテ爰ニ裁定ヲ仰カントスルハ実ニ法律ノ許シタル措置ナルコト瞭々トシテ明ナリ依テ前段ノ次第ヲ遂ヒ更ニ進テ其見解ノ当否ヲ弁明セシ

地方税規則第一条第一項ノ制限ハ苟モ地方税ニシテ土地ニ賦課シ金錢ニ積算シ得ヘキモノハ税品ノ何タルヲ問ハス等シク皆其支配ヲ受クヘキコトハ其文詞ニ拠リ其制限ヲ設ケタルノ精神ニ拠ルモ寔ニ明白ナリトス若シ夫レ税品ノ種類ニ由テ此制限ヲ受ケサルモノトセハ該文詞ハ何品ヲ以テ徴收スルモノハ地租三分一以内ト記載アルカ又ハ何税品ハ此限ニアラスト記載セサルヘカラス苟モ然ラス単ニ地租三分一以内トノミ記載アルハ土地ニ課スル税品ノ全部ヲ指シタルモノト解釈スヘキハ最モ至当ノ解釈法ト謂フヘシ將タ又税種ノ成立如何ニ由テ此制限ヲ受ケストセハ該制限ノ精神ハ空シク施政者ノ為ニ徒爾ニ属スルナキヲ得ンヤ抑法文ノ解釈ハ文詞ニ附会スル所アル可ラス立法ノ精神ル徒爾ニ歸セシメサルハ法文解釈ノ通則ナリ如何ニ記載ナキ文詞ヲ附会シ力ナキ施政者ノ措置ヲ以テ地方經濟ノ大典タル規則ヲ徒法ニ歸セシムルヲ得ンヤ今本県人足旧慣使役法ハ其税品ハ勞力ナリ其成立ハ明治十二年二

月二十七日太政官号外達ニ基キ議會ノ議決ヲ経テ内務卿ノ黙過ニ係ルモノナリト雖モ其属スル所ハ即チ地方税ナリ既ニ地方税ナリトセハ何ヲ以テカ地方税規則ニシテ之ヲ支配スルノ力ナシト謂フヲ得ンヤ県令ハ又謂ハンカ本県ノ人足使役法ハ明治十二年二月二十七日太政官号外達ノ主旨ニ基キタル特別ノ成立ナレハ地方税規則ノ如キ通常規則ノ支配スヘキ理ナシト夫レ明治十三年二月二十七日太政官号外達ニ基キタリトセハ地方税規則ノ制限ヲ受クル固ヨリ其所ナリ何トナレハ則チ該号外達ノ明文中毫モ地方税規則ノ制限ヲ免ルヘキノ意味アルヲ見サレハナリ蓋シ該号外達タル明治十一年七月二十七日号外達第十二項ヲ以テ河港道路堤防橋梁等ニ係ル地方税及ヒ町村費ノ負担区分ヲ定メタルモ之ニ準拠シ難キ分ハ暫ク旧慣ノ負担区分ニ据置クモ妨ケナシトノ旨趣ニシテ単ニ地方税ト町村費トノ負担区分上ノ融通ヲ与ヘタルモノニ過キサルトハ其文詞及ヒ明治十一年七月二十二日太政官号外達第十二項ノ文詞ニ徴スルモ寔ニ明白ニシテ毫モ旧慣法ニ拠テ課税スルモノ若クハ金錢外ヲ以テ徴收スルモノハ地方税規則ノ制限ヲ超過スルモ妨ナシトノ旨趣ヲ視サルナリ加之人足物品等ニ至ルマテ金錢ノ賦課ト同シク制限内ニ属スヘキ一例アリ他ニア

ラス本年八月二十五日第二十五号布告是レナリ該布告ハ区町村費ノ制限ヲ設ケ地租七分一ヲ超過スヘカラスト規定セラレ其人足品物等ヲ課スルモ皆此制限内ニ含蓄セシメラレタルコトハ内務省甲第二十九号達ノ雛形ニ由ツテ明亮ナリ夫レ地方稅ト区町村費トハ其名目異ナルト雖モ其制限ヲ立ツルノ精神ニ至テハ敢テ異ナルノ理由ナカルヘク区町村費ニ於テ既ニ地租七分一ノ制限中ニ人足ヲモ含蓄スルニ於テハ地方稅モ亦之ト同シキヤ推シテ知ルヘキナリ是議會カ本県ノ人足使役法ノ人足タリトモ其之ヲ課スルニ於テハ金錢ニ積算シ其部分ヲ地租割ヨリ控除セサルヘカラスト謂フ所以ナリ県令又謂ハンカ本県人足使役法ノ原案タル之ヲ明治十三年度ニ於テ地方稅規則ノ制限以外ニ賦課スルノ説明ヲ以テ議會ニ下附シ議會亦之ヲ議決シ而シテ内務卿モ亦默過セラレタリ是則チ人足旧慣使役法タル素ト特別ノ成立ニシテ通常地方稅規則ノ支配ヲ受クヘキモノニアラサレハナリト豈夫レ然ランヤ施政上ノ法律ハ以テ施政者ノ措置ヲ規定スルノ法典ナリ何ソ施政者ノ措置ヲ以テ逆ニ法律ノ範圍ヲ狹隘ナラシメ法律ノ權力ヲ微弱ナラシムルノ理アラシヤ地方稅規則ノ制限ハ施政者ヲ規タスノ法律ナリ明治十三年度ニ於テ県令カ人足旧慣使役法ニ就キ制限外

自由民権期の府県会闘争（後藤）

ノ議案ヲ下附シ議會之ヲ議決シ内務卿之ヲ默過シテ問ハサリシハ皆是施政者ノ一措置ノミ施政者ノ措置ハ固ヨリ法律ノ規定ニ循ハサルヘカラス明治十二年度ニ於テハ之ニ從ハス之カ制限ヲ超越シタルハ偶々是県令及ヒ議會等ノ誤謬ニ出タルモノニシテ將ニ法律ノ矯正ヲ受ケサルヘカラスラントスルノ措置ノミ何ソ法律ノ矯正セラルヘカラスルノ措置ヲ籍テ却テ法律ノ力ヲ減殺スルノ奇貨ト為スヘケンヤ且夫レ地方稅規則ト本県ノ人足旧慣使役法トハ元ト相矛盾スルモノニアラス故ニ県令カ之ヲ議會ニ附シ議會之ヲ議決シテ尚ホ今日ニ施行スルモノ固ヨリ其宜シキヲ得タリ唯人足課額ノ点ニ於テ地方稅規則ノ制限ヲ超過セシカ為会々規則ト相抵触スルニ至リシノミ然ラハ即チ成立ノ事蹟ニ拘泥シテ地方稅規則ト人足使役法トヲ抵触セシムルノ解釈ヲ下サンヨリ寧ロ其誤謬ノ点ヲ矯正シテ互ニ相抵触セシメサルノ解釈ヲ下スノ方且正ナルニ如カサルナリ県令ハ又謂ハン本県ノ人足使役法ハ地方稅ノ部分ニアラス故ニ地方稅之ヲ支配スルノ謂ハレナシト然ラハ則チ人足旧慣使役法ハ何等ノ稅目ニ屬スルヤ國稅ニ屬センカ將タ区町村費ニ屬センカ殆ント其掃著スル所ヲ失フニ至ラン元來該人足ハ現ニ本県土木費ヲ以テ支弁スヘキ工事ニ使役スルモノニ

シテ純然地方税負担ノ工事ニ係ルニ工事既ニ此ノ如シ是其地方税ノ部分タル第一証ナリ凡ソ県令ニシテ地方人民ニ負担セシムルモノハ悉ク地方税ニ出テサルハナシ該人足ハ即チ県令カ地方ニ向テ負担セシメタル所ノ努力ナリ県令ニシテ之ヲ賦課シ之ヲ使役シ来ルハ又其地方税ノ部分タル第二証ナリ県令カ県会ノ議決ヲ要スルモノハ総テ地方税ナリ該人足使役法タル明治十二年二月二十七日太政官号外達ニ由テ県令之ヲ議會ニ附シタリ是其地方税ノ部分タル第三証ナリ若シ夫レ之ヲシテ地方税ノ部分ニアラストセハ県令ハ何ヲ以テカ彼レカ如ク議會ノ議決ヲ要シ彼レカ如ク土地ニ賦課シ以テ彼レカ如ク地方負担ノ箇所ニ使用シ来ルノ道理アランヤ斯ノ如クシテ尚ホ且本県ノ人足旧慣使役法ハ地方税ノ部分ニアラサルヲ以テ地方税規則ハ之ヲ支配スルノ力ナシト謂フハ議會ノ固ヨリ取ラサル所ナリ

上來論述スルカ如ク本件ハ県令ト議會ト見解ヲ異ニシタルヤ明白ナリトス是議會カ裁定ヲ仰クノ止ムヲ得サル所以ナリ

## 県令ノ答弁

宮城県会ハ県令ト法律ノ見解ヲ異ニスト謂フ故ニ以テ之カ裁定ヲ仰クノ具状書ヲ出セリ然ルニ其書中ニ所謂県令カ法文ニ

向テ解釈セリトナスカ如キハ県令ノ解釈スル所ニアラサルヲ以テ県令ハ法律ノ成文ニ向ヒ解釈スル所ト本県土木人足旧慣使役法ノ成立シタル所以トヲ左ニ弁明シ之カ答弁ニ供セントス

抑地方税ヲ以テ支弁スヘキ費途ニ充ツヘキ金員ニシテ苟モ地方税トシテ土地ニ賦課シ徴収スヘキモノハ地方税規則第一条第一項ノ制限即チ地租三分一以内ヲ超過スヘカラサルハ固ヨリ論ヲ俟タサル所ナリトス故ニ去ル十三年度ニ於テ本県土木人足旧慣使役法ヲ設ケ之ヲ県会ニ附スルニ至リ県会ハ其議案ニ就キ地方税ナルモノハ戸数割ヲ除クノ外皆其制限アリテ(當時規則ニ拠ル)之カ為支出スヘキ金額ヲ支出スルヲ得ス為スヘキ事業ヲ為スヲ得ス現ニ本県土木ニ要スル人足ノ如キハ從來之ヲ其關係町村ニ課シ正夫ヲ徴シテ使役スルノ旧慣アルモ己ニ地方税規則ヲ発布セラレタル以上ハ亦此規則ニ拠リ地方税ヨリ相当ノ雇錢ヲ出シテ使役セサルヘカラサルニ至レリ云云ト説明セリ是他ナシ地方税規則ナルモノハ凡ソ地方税ノ支弁ニ属スルモノハ一切之ヲ統括スルモノナルカ故ニ從來ノ慣行アルモノト雖モ其性質苟モ地方税ニ属スヘキモノトスルトキハ之カ支配ヲ受クヘキハ勿論ナリト視認セシニ由ルナリ

県令カ地方税規則ノ法文ニ向テ解釈スル所ハ右ノ外ニ出テサルモノニシテ本県土木人足使役法ノ因ヲ以テ成立シタル所以ハ他ニ理由アリアリ謂フ之ヲ弁セシ

蓋シ本県ノ地タル土宜民情自ラ他府県ト異ナル所アルヲ以テ土木工事ニ要スル人足ノ如キハ到底地方税規則ニ拠ルヘカサル情況ナキニアラス今本県ニ於テ現ニ人足旧慣使役法ヲ以テ保持スル所ノ河港道路堤防等ノ如キハ其性質果シテ地方税ノ支弁ニ属スヘキモノナルヤ將タ区町村費ニ属スヘキモノナルヤ二者殆ト分別スヘカラサルノ觀ナキニアラス然レトモ之カ区域ヲ論スルハ本論ノ主眼ニアラサルヲ以テ且ラク之ヲ措キ仮リニ地方税ヲ以テ支弁スヘキモノトセムニ從來ノ慣行ニ依リ去ル十三年度以前ニ於テ河港道路堤防橋梁等ノ工事アルニ際シ使役スル所ノ人足ヲ調査スルトキハ十一万千四百九十九人六分ニシテ此旧郡村ニテ為スヘキ約定アル用悪水等春秋雨度ノ修繕ニ係ル人足二十四万三千二百三十九人九分ヲ控除スルトキハ五十六万七千九百九人七分ナルヲ以テ一人ノ賃錢ヲ二十五錢ト看做シ之ヲ金員ニ積算スルトキハ實ニ二十四万千九百七十七円四十二錢ナリトス爾後工事ニ付テハ大ニ整理シ從テ使役スル所ノ人足頗ル減省スルニ至ルモ今後猶ホ二十四

自由民権期の府県会闘争(後藤)

万人余ヲ下ラサルヘシ然ルニ地方税規則ナルモノハ前後已ニ述フル如ク戸数割ヲ除クノ外皆其制限アリテ現ニ受ケサルヘカラサル事業モ為スヲ得サルカ如キ經濟ノ困難アルニモ拘ハラシ今又此巨額ノ費用ヲ拵ケ之ヲ地方税ノ支弁ニ属スルトキハ其弊管ニ細民ヲシテ其負担ノ重キニ耐ヘサラシムルノミナラス土木百般ノ事業ハ皆之カ為メニ其進路ヲ遮キラレ漸次退縮ノ兆ヲ現ハスニ至ルハ固ヨリ当然ノ理ニシテ亦以テ實際上限リアル地方税ノ支弁ニ属セシム能ハサルノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ況ンヤ其性質タル未全ク地方税ト見做スヘカラサルモノアルニ於テオヤ於是カ去ル十三年度ニ於テ十二年二月二十七日ノ太政官号外達ニ基キ此等工事ニ要スル人足ニ限り暫ク旧慣ニ仍リ從前ノ区域ニ於テ正夫ヲ使役スルモノトシ県会ノ決議ヲ取り内務省ノ認可ヲ得テ之カ特別ノ法ヲ設ケタリ即チ之ヲ本県現行ノ土木人足旧慣使役法ナリトス抑此法タル已ニ地方規則ニ拠ヘカラストシテ其規則ノ外ニ設ケタル一種特別ノモノナレハ此法ヲ以テ施行スル所ノモノハ地方税規則第一条第一項ニ掲クル制限ノ地稅三分一内外ニ關係セラルヤ明ナリ矣故ニ地方税規則ニ於テハ正夫ヲ以テ徵取スルヲ得サルモ此法ニ於テハ地租三分一内外ニ拘ハラシ之ヲ使役スルヲ得ヘ

シ地方税規則ニ於テハ不納スルモノアレハ公売処分ヲナスコトヲ得ルモ此法ニ於テハ之カ処分ヲナスコトヲ得ス(内務卿指令ニ拠ル)地方税ハ県下一般ニ賦課スルトモ此法ハ水利工功ノ工事アル場合ニ於テ其地元町村ニ限り其工事ニ要スル的人足ヲ使役スルヲ例トセリ是其地方税規則ニ拠ル能ハサスシテ其規則ノ外ニ設ケタル特別法タルノ例証ナリトス

以上陳述スルカ如ク県令カ法律ノ成文上ニ向テ解釈スル所ト本県土木人足旧慣使役法ノ成立シタル所以トヲ弁明スルトキハ土木人足旧慣使役法ハ地方税規則第一条第一項ノ法文ニ對シテ其關係ノ如何ヲ論スヘキモノニアラサルノ理ハ瞭然トシテ明ナルヲ得ヘシ其他県会カ具狀スル所ノ事實ニ至リテハ往々實際ト齟齬シ或ハ全ク其誤解ニ出テタルモノナリト見認ムルモノナキニアラスト雖モ苟モ此実理ニシテ己ニ明ナル以上ハ是等ノ事實ハ別ニ論弁ヲ費ヤササルモ亦從テ自ラ判然タルモノアラム依テ只其大体ニ関スル意見ヲ具シ併セテ之カ答弁ニ供ス

## 審明

本件県令ト県会ト法律ノ見解ヲ異ニスル要点ハ人足旧慣使役法ニ依リ賦課スル人足ハ地方税規則ノ範圍内ナルヤ否ニ在リ

依テ審案スルニ県会ニ於テ現行スル所ノ人足旧慣使役法ハ明治十三年度県会ノ議決ヲ經テ地方税ヲ以テ支弁スヘキ水利土功アルニ際シ其關係町村ニ賦課スルニ努力ヲ以テスルノ税法ナレハ地方税規則第一条第一項限内ノモノナリト謂フト雖モ該使役法ハ県令ノ本県ノ水利土功ニ関スル慣行ノ遽ニ廢シ難ク且地方税ノミニ資リ工事ヲ保持シ難キ事由アルヲ以テ県会ノ議ヲ經テ施行スルモノニ係リ即チ本県限り設ケタル一種ノ課役方ニシテ其地方税ニアラサルハ當時県令カ之ヲ県会ニ付シタル議案ニ地方税アルモノハ戸數割ヲ除クノ外各其制限アリテ現ニ興スヘキ事業ヲ興スヲ得ス費スヘキ金額ヲ費スヲ得サルノ狀況ナレハ之ヲ地方税ヨリ支弁セントスルモ實際施行シ難キノミナラス旧慣ヲ破リ民心ニ悖戾スルノ恐ナキ能ハサレハ姑ク旧慣ノ方法ニ仍リ使役セントスルアリ県会モ亦此ニ依テ之ヲ議決シタルヲ以テ明瞭ナリトス又県会ハ元來該使役法ニ依リ賦課スル人足ハ純然地方税負担ノ工事ニ使役セリ該人足ハ県令カ地方ニ向テ負担セシメタル所ノ努力ナリ県令之ヲ賦課シ之ヲ使役シ來ルハ地方税タルノ例証ナリト謂フト雖モ該使役法ハ既ニ地方税規則ニ準拠セサル特殊ノ方法ナレハ其工事ニ關係ノ町村ニ限り人足ヲ賦課シ地方税ト同シク一般ニ

徴収セサルヲ以テ視ルモ其性質ノ地方税ニアラサルヤ亦明ナリ畢竟該使役法ハ本県ニ限り暫ク旧慣ニ仍リ設ケタルモノニ過キサレハ地方税規則ノ範圍内ノモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ人足旧慣使役法ハ県令カ地方税規則外ノモノナリト為セシハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノニアラス

明治十九年二月六日

審理委員

法制局参事官 蒲生 仙

(二二) 營業稅雜種稅ニ関スル法制局裁定書

富山県令 国重 正文

富山県會議長 米沢紋三郎

右県令ト県会トノ間ニ於テ明治十八年度營業稅雜種稅ノ件ニ付權限ヲ争ヒ府県會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰ク要領左ノ如シ

県令ノ具狀

明治十八年度ノ通常県會ニ於テ營業稅雜種稅課目課額ノ議案中課別法區別ノ首メニ掲ケタル商業中卸売小売雜商工業中製造所職業ノ稅ハ其營業者ノ員數ヲ目安トシ各稅區ニ賦課スルモノトス每稅区内各自ノ課額其町村會又ハ連合町村會ノ評決ニ抛ル若シ開會スル不能等ノ事情アルトキハ前年ノ商金高(取得金ハ十倍ヲ以テ商金高ト見做ス)ニ依リ箇數ヲ計算シ左ノ區別ヲ以テ賦課スルモノトスト云フノ一項ハ県會之ヲ可決シ(左ノ區別ハ修正シタリ) 県令之ヲ認可シ而シテ本年五月甲第二十八号ヲ以テ管内ニ布達セリ然ハ則チ其項ノ若シ以下則チ後段ノ場合ヲ除クノ外ハ各町

審理委員長

法制局長官 山尾 庸三

審理委員

法制局参事官 馬屋 原彰

審理委員

法制局参事官 平田 東助

審理委員

法制局参事官 男谷 忠友

審理委員

法制局参事官 岸本 辰雄

審理委員

法制局参事官 水野 遵

自由民権期の府県會鬭争(後藤)

村会又ハ各連合町村会ニ於テ適宜各自ノ課額ヲ評決シ得ヘキコトタルハ決シテ疑ヲ容レサル所ナリ然ルニ県令ハ本年五月乙第四百号ヲ以テ地方税營業取扱順序ナルモノヲ達シ其中ニ議案調理方ハ毎税区内營業者ノ前年中商金高ヲ取調ヘ左表ニ照シテ箇數ヲ計算シ之ニ依テ毎戸長所轄ノ当額或ハ各自ノ課額ヲ算出スヘシト云フノ条ヲ載セシニ付郡長戸長ハ町村会ヲシテ必ス此箇數ニ依テ評決セシムヘキヤ否ヲ伺ヒシニ県令ハ此箇數ニ依ラスシテ評決スルヲ許ス可ラサルノ主旨ヲ以テ指令セリ是ヲ以テ各戸長ハ尽ク商金高ノ箇數ニ依テ編製シタル議案ヲ發シ以テ町村会ヲ檢束シ此箇數ニ依ラスシテ評決スルコトヲ許サス若シ此檢束ヲ受ケサラントスル者アレハ即チ前陳ノ乙号達又ハ伺指令ヲ示シ之ニ違フタル評決ハ無効ナルカ故ニ施行スヘカラストシテ之ヲ制止シタリ強テ此箇數ニ依ラスシテ評決セシ町村会アレハ戸長ハ直チニ県令ノ指揮ヲ請テ原案ヲ施行セリ是ニ由テ県令ハ県会ノ議定ヲ破リタルヲ明知セシト雖府県会ハ結合体ノ者ナルカ故ニ今回ノ議會即チ明治十九年度ノ通常県会ヲ待テ始メテ之ヲ質スコトヲ得シナリ先ツ質スニ県令ハ町村会ノ評決ヲシテ必ス商金高ノ箇數ニ依ラシムルノ意見ナリシト答ヘタリ次ニ果シテ然ラハ其箇數ニ依

ラサルノ評決ハ戸長ヲシテ之ヲ施行セシメサリシヤ否ヲ質セシニ県令代理人ハ其箇數ニ依ラサルノ評決ハ尽ク施行セシメサリシナリ而シテ竟ヒニ五六町村会ニ及ヒタリト答ヘタリ後又日前キニ答ヘタル商金高ノ箇數ニ依ラサリシヲ以テ其評決ヲ施行セシメサリシハ僅カニ村会ニシテ且唯箇數ニ依ラサリシノミヲ以テノ故ニ非ラス別ニ不適當ナル処モアリシニ由テナリト仮令後ノ弁明ニ從フモ箇數ニ依ラサルノミナラハ施行セシムルナリト言ハサル以上ハ箇數ニ依ラサルミニテモ施行セシメサルノ意タルハ復々掩フ能ハサルナリ是ニ至テ県会ハ明治十年度通常県会ニ於テ議定シタル毎税区内各自ノ課額其町村会又ハ連合町村会ノ評決ニ拠ル云云トハ拳テ之ヲ該会ニ付托セシ者ニテ敢テ画一ノ方法ニ依ルヲ要セス各地適宜ノ評決ヲ得セシムル主旨ナリシハ理ノ賭易キ者ナリ然ルヲ県令ハ恣ニ方法ヲ設テ之ニ依ラサルヲ許ササリシハ県令ノ議定ヲ破リタル者ナリト謂フヲ以テ之ヲ県令代理人ニ質セリ県令代理人ハ之ニ答テ十八年度ノ營業稅雜種稅課目課額ノ議案ハ十七年度ノ通常県会ノ終リニ於テ県令ヨリ建議セシ分配稅法ノ案ヲ採リテ編製セシ者ナルカ故ニ其課別法區別ノ首項ハ字句ノ如何ニ拘ハラス商金高ノ箇數ニ依テ各自ニ課稅スルノ意義ヲ

含有セルコトハ議會自ら能ク知ル所ナリ故ニ其項ハ質問ト弁明ヲ要セス速ニ原案ヲ可決セシヲ以テ勿論之ニ含有セシ所ノ意義ハ議會ノ是認セシ者ト信シテ県令ハ是ヲ認可シ而シテ其含有セル所ノ意義ヲ以テ施行セシ者ニシテ敢テ議定ヲ破リタルニ非ラザルナリト弁護スト雖縣会ヨリ建議シタル分配税法ノ案ニハ町村会ヲシテ各自ノ課額ヲ評決セシムルニモ必ス商金高ノ箇數ニ依ラシムルノ意義無シ仮リニ一步ヲ讓テ其意義有ル者トスルモ建議ノ取捨ハ縣令ノ方寸ニ在ルヲ以テ条項ニモ其意義ヲ記載セス又之カ弁明モセサルニ於テハ縣会ハ何ニ由テ其含有セルコトヲ知ルヲ得ンヤ已ニ之ヲ知ルヲ得ス將タ何ニ由テカ之ヲ是非スルヲ得ンヤ其レ然リ之ヲ如何ニソ縣会ハ其意義ヲ是認セシ者ト信スルヲ得ヘケンヤ強テ縣令ハ之ヲ信セシ者トセンカ是レ信スヘカラサルコトヲ信セシ者ニシテ道理ト事實ノ許ササル所ナリ其過失ニ出テシモ故意ニ出テシモ議定ヲ破リタルニ至テハ則チ一ナリ是ヲ以テ縣令ハ府縣会規則第一条及ヒ明治十四年第六号布告ニ背キ其權限ヲ超越シテ縣会ノ權限ヲ犯シタル者ナリト信認ス

#### 縣令ノ答弁

富山縣会ハ明治十八年度ノ通常縣会ニ於テ議定シタル營業稅

#### 自由民權期の府縣会鬭争(後藤)

雜種稅課目課額ノ件ニ付別紙具狀書ヲ提出シ以テ縣令ハ府縣会規則第一条及ヒ明治十四年第六号布告ニ背キ其權限ヲ超越シ縣会ノ議權ヲ犯シタリトシテ政府ノ裁定ヲ請ハントセリ然レトモ毫モ右規則及ヒ布告ニ背キ縣会ノ議權ヲ犯セシコトアラス其所謂議權ヲ犯シタリトハ縣会自己誤認ニ出ルヲ以テ肯テ之レカ答弁ノ責任セサルヘシト信ス今其仔細ヲ略陳センニ抑明治十八年度ノ該稅課目課額議案ハ別別紙ノ通りニシテ其商業中卸売仲買小売及ヒ其工業中製造所職業ノ稅ハ其營業者ノ員數ヲ目安トシテ之レヲ每稅已ニ賦課シ而シテ其每稅区内各自ノ課額ハ町村会又ハ連合町村会ノ評決シ擲リテ定ムルコトト為セリ而シテ縣会ハ之レニ對シテ片言ノ質問双字ノ修正タモ為サス直ニ之レヲ原案通可決セリ依テ其原即議決ノ明文ニ擲リ每稅区内各自ノ課額ヲ町村会又ハ連合町村会ニ附シテ評決セシメ以テ之レヲ施行セシメタリヤ然ルニ縣会ハ明治十八年度ノ通常縣会ニ於テ議定シタル每稅区内各自ノ課額ハ其町村会又ハ連合町村会ノ評決ニ擲ルトハ拳テ之レヲ該会付托セシモノニシテ敢テ画一ノ方法ニ依ルヲ要セス各地適宜ノ評決ヲ得セシムルノ主旨ナリシニ縣令ハ恣ニ地方稅營業取扱順序ナルモノヲ達シテ每稅区内營業者前年中ノ商金高ノ箇數ニ依

リテ議案ヲ編成シ以テ之レヲ町村会ニ付セシメ而シテ其箇數ニ依ラスシテ評決シタルモノアルトキハ直ニ戸長ノ具狀ニ依リ之レヲ指揮シテ原案通施行セシメタリ是則県令ハ県会ノ議定ヲ破リ県会ノ議權ヲ犯シタルモノナリト謂フト雖其所謂町村会又連合町村会ノ評決ニ拠ルトハ単ニ町村会ニ於テ各自ノ課額ヲ評決セシムル迄ノコトニシテ他ノ意義ヲ含有セス而シテ其之レヲ施行スルノ方法順序ヲ定ムルハ固ヨリ県令ノ職權内ニ屬シ又其不適當ナル町村会ノ評決ニ関シテ戸長ノ具狀ニ依リテ之レヲ指揮スルハ則己町村会法ノ規定スル所ニシテ毫モ県会ノ議權ニ關係ナキモノトス況ンヤ十八年度ノ該稅課目課額ノ議案ハ其年度ニ於テ此例稅方ヲ分配稅法ニ改正センコトヲ県会ヨリ建議セシニ依リ其主旨ヲ採リ発附セシモノニテ其建議文中ニ營業組合則町村会ニ於テ評決セシムルハ營業者ノ商金或ハ取得商等ニ分配シテ營業者ノ徵收額ヲ定メシムル云云ノ主旨ヲ明言セリ而シテ今ヤ画一ノ方法ニ依ルヲ要セス各地適宜ノ評決ニ任ストハ前後矛盾ノ言ト謂サルヲ得サルナリ右ノ理由ニ由リ県会ノ具狀ニ對シテハ渾テ之レニ答弁スルノ限ニ非スト信認セリ

審明

本件県令ト県会ト權限ヲ争フト謂フ要點ハ明治十八年度ノ通常會ニ於テ町会カ地方稅徵收方法中每稅区内各自ノ課額ハ町村会又ハ連合町村会ノ評決ニ拠ルト議決シ縣令ノ認可ヲ得タリシニ縣令カ明治十八年五月乙第四百号ヲ以テ營業者前年商金高ニ依リ箇數ヲ計算シ各自ノ課額ヲ算出スヘシト郡長戸長ニ達シ且箇數ニ依ラサル評決ハ之ヲ認可スヘカサル趣旨ヲ以テ指令シタルハ県会ノ權限ヲ犯シタリト謂フニ在リ依テ之ヲ審案スルニ縣会ノ議決ハ単ニ各自ノ課額ハ町村会又ハ連合町村会ノ評決ニ拠ルトアルノミニシテ其標準ヲ定メタルニ非ス而シテ縣令カ乙第四百号ヲ以テ商金高ニ依リ箇數ヲ計算シ各自ノ課額ヲ算出スヘシト達シタルハ議案ヲ調製スルノ標準ヲ郡長戸長ニ示シタルモノニシテ町村会ノ權限ヲ抑制シタルニ非ス又其箇數ニ依ラサル評決ハ之ヲ認可スヘカラスト指令シタルハ其評決ヲ不適當ト認メ区町村会法第四条ニ依リ行政上ノ權限ヲ以テ処分シタルニ外ナラス之ヲ要スルニ縣会ノ争フ所ノモノハ縣令行政上ノ処分ニ過キスシテ縣会ノ議決ニ關係ナキモノナリ法制局ハ府県會規則第九条ニ依リ府知縣令ト府県會トノ間ニ於テ法律ノ見解ヲ異ニシ又ハ權限ヲ争フモノヲ裁定スル所ナルヲ以テ本件ノ如キハ法制局ノ裁定ヲ請フヘ

キモノニ非ス

判決

右ノ理由ニ依リ本件ハ法制局裁定ノ限ニ在ラス

明治十九年二月二十六日

審理委員長

法制局長官 山尾 庸三

審理委員

法制局参事官 周布 公平

審理委員

法制局参事官 広瀬 進一

審理委員

法制局参事官 木一 周一

審理委員

法制局参事官 牧野 伸頭

審理委員

法制局参事官 広瀬 賢光

審理委員

法制局参事官 小池 清一